

令和3年度

行政評価結果

【第3巻 事前評価】

評価からはじめるまちづくり

令和4年3月

盛岡市

事務事業事前評価

令和4年度以降、新しく実施及び拡充を予定している事業について、事前評価を実施しました。

この評価は、新規・拡充事業について目的妥当性や有効性などの観点から事業内容を評価して事業の必要度を判断することで、厳しい財政状況の中で効率的な市政運営を行うために実施するものです。

令和3年度は、総合計画実施計画の計画期間である令和4年度に実施を予定している46事業について評価を行いました。

事業毎の評価結果は次のページのとおりです。

記

区分	事業数
実施	22
一部実施	4
見送り	20
計	46

事務事業事前評価一覧

1 まちづくりの取組

No	施策名	事業名	事業概要	戦略プロジェクト	事業年度	R4当初予算(案) (単位:千円)	事業実施の可否	備考
1	子ども・子育て, 若者への支援	放課後児童クラブに対する賃借料の補助事業	民間賃貸物件等において賃借料を負担して運営を行っている放課後児童クラブに対する賃借料補助の補助率を1/8から1/4に引き上げる。	○	4 ~ *	3,528 (うち拡充分 1,764)	実施	
2	子ども・子育て, 若者への支援	余裕教室を活用した放課後児童クラブ整備事業	仕事と子育ての両立を支え, 子育てを支援するため, 桜城小学校の余裕教室を活用した放課後児童クラブの整備を行う。	○	4 ~ 5	2,500	実施	
3	子ども・子育て, 若者への支援	保育体制強化事業	清掃業務や遊具の消毒等といった保育に係る周辺業務を行う保育支援者を配置し, 保育士の業務負担の軽減を図る事業者に対し, 配置に必要な費用の一部を補助する。	○	4 ~ *	18,000	実施	
4	子ども・子育て, 若者への支援	潜在保育士等再就職支援事業	一度保育士を離職したのちに再就職を希望する保育士や, 首都圏等からのU・Iターン等により再就職を希望する保育士に対し, 再就職を円滑にするため準備等に要する経費に対し給付金を支給する。		4 ~ *	0	見送り	事業により見込まれる効果を精査のうえ, 事業の必要性を再検討するため。
5	子ども・子育て, 若者への支援	0歳児保育定員確保支援事業	年度末と翌年度当初の0歳児の入所人数の差が拡大し園の収入への影響が大きくなっていることから, 0歳児を担当する保育士の雇用の確保のため, 当該入所人数の差が大きい施設に対し補助金を支給する。		4 ~ *	0	見送り	国の制度上の課題であり, 市が単独で補助する妥当性を再検討する必要があるため。
6	子ども・子育て, 若者への支援	公立保育所保育業務ICT化事業	公立保育所における業務効率化を目的とし, 保育業務アプリケーションソフトの導入, PC端末リースを行う。		4 ~ *	2,147	実施	
7	子ども・子育て, 若者への支援	SNSを活用した子ども・子育て情報発信事業	子育て支援の充実を図るため, 子育て世代に親和性の高いスマートフォン等で利用可能なSNSを活用し, 子育て世代が必要とする情報を発信する。	○	4 ~ *	770	実施	
8	子ども・子育て, 若者への支援	離婚前後生活支援事業	離婚協議開始前の父母に対し, 養育費や面会交流の取決め等に係る講座を開催する。また, 養育費の取決めに係る公正証書等の作成費用補助や養育費保証契約を結んだ際の手数料補助を行うとともに, 面会交流支援事業を実施する。		4 ~ *	0	見送り	事業の必要性, 制度設計について再検討する必要があるため。

No	施策名	事業名	事業概要	戦略プロジェクト	事業年度	R4当初予算(案) (単位:千円)	事業実施の可否	備考
9	子ども・子育て、若者への支援	不妊専門相談センターの設置(岩手県と共同実施)	不妊や不育症の課題に対応するための適切な体制を構築することにより、生涯を通じた女性の健康の保持増進を図ることを目的とする。当センターは岩手県は設置済みであり、県と市による共同実施により、協力・連携して相談機能の充実、強化を図っていく。	○	4～*	1,782	実施	
10	高齢者福祉の充実	介護人材育成優良事業者認証評価事業	人材育成等に取り組む介護事業者の取り組み内容を評価する認証制度を設け、認証取得に向けた事業者の支援を行う。		4～*	0	見送り	県などの関係機関との調整が必要であるため。
11	高齢者福祉の充実	介護の仕事魅力発信事業	介護職のイメージアップを図るため、学校等での学習を通じて介護に対する理解を深める。	○	4～*	152	実施	
12	健康づくり・医療の充実	成人健康診査事業	成人検診対象者のうち未受診者に対してハガキによる受診勧奨・再勧奨(コール・リコール)を行い、受診率の向上を図ることで、がんを早期に発見し適切な治療に結び付けるもの。		4～*	482,871 (うち拡充分 7,033)	実施	
13	健康づくり・医療の充実	骨髄ドナー支援助成金交付事業	ドナー登録者の確保及び骨髄等の移植の推進を図ることを目的とし、ドナー休暇を利用することができないドナーやドナー休暇を付与した事業所に対して、助成金を交付する。		4～*	0	見送り	事業により見込まれる効果を精査のうえ、事業の必要性を再検討するため。
14	障がい者福祉の充実	地域生活支援拠点整備事業	在宅の障がい者が地域で安心して暮らせるよう、緊急相談受付や短期入所の体制を整備する。		4～*	0	見送り	真に必要な実施体制を検討する必要があるため。
15	障がい者福祉の充実	重症心身障害児等受入事業所補助金	障害児通所支援事業所が、重症心身障害児等を受け入れるため特段の体制をとる場合に、体制維持の必要経費を補助する。		4～*	0	見送り	国の制度上の加算措置があり、市が単独で補助する妥当性を整理する必要があるため。
16	安全・安心な暮らしの確保	空き家等対策の推進	令和3年度から県が創設した補助事業の活用を図るため、既存の空き家等改修事業補助金から空き家等取得事業補助金に移行し、上乗せ要件の拡充(居住誘導区域)等を実施する。		4～*	900 (うち拡充分 0)	実施	補助金の移行は実施するが、既存の予算の範囲内で対応する。
17	歴史・文化の継承	県指定天然記念物山岸のカキツバタ群落再生事業	盛岡市の花となっているカキツバタ群落が、雑草の繁茂や地形の変化により群落が危機的な状況におかれており、通常の維持管理作業では群落の存続が危ぶまれていることから、群落の再生を目指して環境整備を実施するもの。		4～6	0	見送り	既存の業務委託等により最適な整備方法を検討する。

No	施策名	事業名	事業概要	戦略プロジェクト	事業年度	R4当初予算(案) (単位:千円)	事業実施の可否	備考
18	歴史・文化の継承	民俗芸能の魅力発信事業	令和3年度に制作する民俗芸能PR動画を使い、更なる民俗芸能の魅力発信を行う。民俗芸能の発表会や、各保存会の動画を発信、民俗芸能アーカイブの制作を実施する。		4～*	0	一部実施	民俗芸能団体と協力し、既存の映像資料を活用した魅力発信を行う。
19	歴史・文化の継承	もりおか歴史文化館を中核とした盛岡市文化観光推進拠点計画策定事業	文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律に基づく計画を策定し、計画の認定を受けることにより、Wi-fiやキャッシュレス等の整備、学芸員の体制支援、利便性向上、展示改修等の事業に対して国からの支援を得ようとするもの。		4～5	0	見送り	関係部署や機関と調整が必要であるため。
20	芸術文化の振興	(仮称)市民総合文化祭事業	公民館等の施設で自主的に開催している文化祭等の催物を(仮称)市民総合文化祭として一定期間開催して市内全域の気運醸成を図り、多くの市民が展示や発表を行う機会とするほか、市民が気軽に参加できる機会を提供するため、市文化会館開放デーに取り組む。	○	4～*	678	実施	
21	芸術文化の振興	芸術・伝統文化体験事業	芸術文化の担い手育成の一環として、子どもや保護者を対象とし、芸術や伝統文化、生活文化などに触れ合う機会を提供するため、様々な分野の芸術・伝統文化体験事業を行い、複数年にわたり計画的に実施することで芸術文化を育てる土壌をつくる。	○	4～*	2,200	実施	
22	スポーツの推進	盛岡市スポーツを通じた健康づくりに係るアクションプランに基づく実施事業	「盛岡市スポーツを通じた健康づくりの推進に関する条例」の基本政策に沿った取組を推進し、市スポーツ推進計画の基本方針実現及び成果指標を達成するため、「アクションプラン(計画期間令和3～4年度)」を策定し、市民の運動機会の創出によるスポーツを通じた健康づくりを図るもの。	○	4～*	10,023	実施	※令和4年第1号補正実施分含む
23	スポーツの推進	盛岡市スポーツ合宿・大会助成金制度の創設	盛岡市内に宿泊するスポーツ合宿及び大会の主催者に対し、助成金を交付することで合宿・大会の主催者にインセンティブを付与することにより、交流人口の拡大を図るもの。	○	4～*	1,208	一部実施	スポーツ合宿開催補助を新たに実施する。スポーツ大会誘致補助金は既存MICE制度の見直しにより対応する。
24	「盛岡ブランド」の展開	移住・定住・交流人口対策事業	移住・定住の促進や関係人口の創出に向けて、高校生、大学生等が地域を知る機会を提供する「盛岡まるごと学び場プロジェクト」の実施校を拡充するなど、若者の地元定着の促進を地域全体で支える仕組みのほか、関係人口等の可視化に向けた仕組みの構築を図る。	○	4～4	49,508 (うち拡充分3,300)	実施	※関係人口等の可視化に向けた仕組みの構築等は令和4年第1号補正で実施

No	施策名	事業名	事業概要	戦略プロジェクト	事業年度	R4当初予算(案) (単位:千円)	事業実施の可否	備考
25	生涯学習の推進	電子図書館事業	電子図書館をWEB上に設置し、盛岡市在住者を対象に電子書籍の貸出を行う。開館時間内に図書館に来ることができない働く世代などを主ターゲットとし、携帯端末等で読書が可能になることにより、市民の生涯学習を推進する。		4～*	0	見送り	費用対効果に留意しながら、事業内容を再検討する必要があるため。
26	生涯学習の推進	図書ネットワーク事業	予約した盛岡市3図書館の蔵書を公民館・地区活動センター等でも貸出し、図書館が近くにない市民の図書貸出サービスの利便性を向上させる。また、公民館等図書室の蔵書を3図書館と同じシステムで管理し、施設の蔵書の相互利用を進める。		4～*	0	見送り	費用対効果に留意しながら、事業内容を再検討する必要があるため。
27	社会を担う人材の育成・支援	職業体験イベント	高校生を対象に、市内にある職業・業種が社会課題解決にどのように役立っているのか、またその仕事をするためにどのような学びが必要なのかを知ることがを目的とする。これにより、市内に多くの業種があること、大学に進学する生徒にあっては、大学で学んだ知識を市内でも生かす場所があることを知る機会となり、将来的な地元就職やUターン就職に結びつける。		4～*	0	見送り	これまでに実施してきた同種の事業の成果と課題を踏まえて、事業内容を再検討する必要があるため。
28	社会を担う人材の育成・支援	企業向けインターンシップセミナー	学生が就職先を選択するにあたりインターンシップが大きなきっかけとなっていることから、採用に結びつく魅力的なインターンシッププログラムを構築するための企業向けセミナーを開催する。	○	4～*	1,500	実施	※令和4年第1号補正で実施
29	社会を担う人材の育成・支援	企業紹介特設サイトの開設	市内企業が自社の魅力を動画や写真付きのテキストで発信できるサイトの構築を行う。現在、当課で保有するサイト「Go-morioka.com」を改修することで対応。これにより、求職者は「Go-morioka.com」にアクセスすれば、市内企業の情報や魅力を入手することができ、市内企業への就職へ結びつく。		4～*	0	見送り	事業により見込まれる効果を精査のうえ、事業の必要性を再検討するため。
30	農林業の振興	有害鳥獣対策事業(電気柵設置費補助事業)	野生動物による農作物被害の防止するため、電気柵設置に係る経費を助成するもの。		4～*	3,000 (うち拡充分 2,500)	実施	
31	農林業の振興	経営継承・発展支援事業	先代事業者(地域農業マスタープランの中心経営体等)から農業経営を継承した後継者が、「経営発展計画」を策定し、これに基づく取組を行う場合の必要経費を支援する。	○	4～*	2,000	実施	

No	施策名	事業名	事業概要	戦略プロジェクト	事業年度	R4当初予算(案) (単位:千円)	事業実施の可否	備考
32	農林業の振興	市産材利用拡大推進事業	岩手大学との共同研究によりデザイン開発を行った市産材ベンチを制作し、商店街等に設置する。		4 ~ *	0	見送り	共同研究の目的、事業効果を整理し、事業内容を再検討する必要があるため。
33	農林業の振興	市産材利用拡大推進事業	中学校の技術の授業における木製工作キットの購入を支援する。なお、工作キットは市産材を使用し、岩手大学との共同研究により開発したものを指定する。		4 ~ *	0	見送り	共同研究の目的、事業効果を整理し、事業内容を再検討する必要があるため。
34	農林業の振興	スマート農業導入促進事業	現行の農業用ドローン関係費への助成を拡充し、ロボット草刈機(全自動式)、リモコン式草刈機の購入費に対しても助成する。	○	4 ~ *	6,300 (うち拡充分 1,800)	実施	
35	商業・サービスの振興	盛岡南地区新産業等用地整備事業	市内への用地需要が高まっている物流事業者が立地可能な流通業務団地を、交通環境の優位性の高い盛岡南IC付近に整備する。	○	4 ~ *	10,000	実施	
36	工業の振興	工業振興事業(盛岡AI・IoTプラットフォーム事業)	AI・IoTに関するプラットフォームを設置し、製造業とIT企業のマッチングを図り、オープンデータの活用や実証実験等を促進し、未来技術を社会実装・実用化し地域経済の成長基盤を構築する。	○	4 ~ *	16,900 (うち拡充分 9,900)	実施	
37	工業の振興	工業振興事業(上場企業創出プログラム)	産業支援機関や協力企業の連携のもと、概ね5年以内に株式上場の実現可能性のある地元中小企業を「(仮称)盛岡スタートアップ」として認定し、上場実現に向けて集中的な支援を行う。これにより、雇用・取引の創出、域外資金獲得等を推進し、地域経済を活性化する。		4 ~ *	0	見送り	限られた財源の中で、他の事業を優先的に実施することとしたため。
38	工業の振興	工業振興事業(未来技術社会実装事業(スマートシティ関連事業))	盛岡AI・IoTプラットフォーム事業(R3~)における実証実験支援等により、市内で複数の実証実験が行われているが、これを社会実装に発展させていくため、データ連携型スマートシティのモデル事業を展開し、データ連携基盤を構築する。	○	4 ~ *	6,800	一部実施	地域活性化起業人の導入のみ実施。
39	工業の振興	盛岡ブランド品通販道場/オンラインショップ	コロナ禍を経験し、巣籠もり需要やオンライン販売が拡大している中、市内事業者においてもこのような流れに対応し、盛岡ブランド品の市外への販路を拡大し外貨を稼ごうとする意欲ある市内企業を育成するもの。		4 ~ 4	0	見送り	市と事業者の役割分担を確認し、事業の妥当性を整理する必要があるため。

No	施策名	事業名	事業概要	戦略プロジェクト	事業年度	R4当初予算(案) (単位:千円)	事業実施の可否	備考
40	工業の振興	ヘルステックグローバル高度人材育成事業	クラウドファンディングの活用により、世界最大の医療福祉機器商談展示会であるMEDICAへ市内の高校生等を派遣し、グローバルな感覚で医療福祉機器の開発を担う人材を育成することによりヘルステック産業の一層の集積を図る。		4～12	0	見送り	市が実施する妥当性を整理する必要があるため。
41	観光の振興	首都圏プロモーション事業	首都圏居住者をターゲット層にしたモニターツアーやSNSを活用した本市の魅力と情報の発信によるプロモーションを展開して、コロナ禍における交流人口の拡大や国内観光需要の取込みを図る。	○	4～*	13,770	実施	※令和4年第1号補正で実施
42	観光の振興	多言語観光案内版整備事業	市内主要箇所が多言語対応の観光案内板を整備する。QRコードにより多言語翻訳を行う。		4～4	0	見送り	他部署とも連携し、市内に点在する案内版を含めて、まちづくりの観点から設置場所や内容について検討し、計画性のある立案が必要であるため。
43	観光の振興	盛岡市鉱泉源保護管理施設補修等補助金交付事業	入湯税を財源とし、市内の鉱泉源管理事業者へ補助を行う。		4～*	0	見送り	事業の趣旨、目的を整理したうえで、制度設計を行う必要があるため。
44	観光の振興	MICE誘致支援事業補助金	コロナ禍によるオンラインとの併用による小規模開催に対する助成の新設及び本市主要ターゲット層への感染予防対策等に要する経費助成の拡充を行う。MICE開催誘致の促進に向けたPR動画作成への補助を行う。	○	4～*	18,250 (うち拡充分5,550)	一部実施	※MICE誘致PR動画の作成は令和4年第1号補正で実施。
45	交通環境の構築	仙北町駅バリアフリー化設備整備補助事業	東日本旅客鉄道株式会社で実施するエレベーター整備等の仙北町駅バリアフリー化に係る費用の1/3を負担するもの。		4～7	15,000	実施	

2 自治体経営の取組

46	市民参画や協働によるまちづくり	市政広報活動事業	新型コロナワクチン接種予約で活用しているLINEアプリに機能を付加し、市政情報発信・道路情報通報システム・市ホームページへの誘導などの仕組みを導入する。		4～*	2,959	実施	
----	-----------------	----------	--	--	-----	-------	----	--